

市町村名	恩納村						
令和５年度（繰越）沖縄振興特別推進交付金事業（市町村分）検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4－②	恩納村農業拠点産地品目等担い手育成研修施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(7)－ア		
担当部署名	農林水産課	事業実施（予定）年度	令和5年度	沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の強化		
事業内容	Ⅲ－1－(6)						
事業内容	農業分野で拠点産地認定を受けている品目の担い手不足を解消するため、農業担い手研修施設を整備し、担い手不足及び生産量の拡大を図る。						
効果発現年度	■当年度 ■後年度（ R8 年度）						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他（ ）						
予算額・執行額【単位：千円】 （「交付金」＋「市町村負担」ベース）	予算の状況		R5年度	R5年度（繰越）	R6年度	R7年度	R8年度
		(a) 当初予算額	42,369	0			
		(b) 予算現額	42,369	0			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額		40,040			
	A. 計 (b+d)	42,369	40,040	0	0	0	
		B. 執行済額	0	39,407			
		うち交付金充当額		31,525			
	次年度繰越額	40,040	0				
	執行率（％）(B/A)	0.0%	98.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明	事業実施前の施設仕様の再検討が必要となったことからその調整に不測の日数を要したため繰越となった。繰越後は、概ね計画通りに執行した。不用額は仕様変更に伴う事業量の一部変更及び入札残である。						
活動目標（指標）及び達成状況	R5活動目標（指標）		達成状況				
	担い手育成研修施設の整備		R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	
		目 標	（ 3棟整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）	
		実 績	3棟整備完了				
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	
	実 績						
達成状況説明	事業実施前の施設仕様の再検討が必要となり繰越したが、令和6年8月に完成した。						
成果目標（指標）及び進捗状況	R5成果目標（指標）		基準値（年度）	R5年度	R6年度	R7年度	目標値（年度）
	担い手育成研修施設の整備 3棟	目 標	（ ）	（ 3棟整備 ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績		3棟整備			
		目 標	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
		実 績					
	進捗状況説明	令和6年8月に完成し、現在2名の担い手育成研修生を受け入れており、令和7年7月1日より追加1名の受け入れを予定している。 【R8年度成果目標】 年間パッションフルーツ生産量5.2tの増					

取組の検証	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
	事業実施前の施設仕様の再検討が必要となり繰越したが、充分な工期を確保することで事業を完了することができた。 現在は、施設の完成により担い手育成研修生を受け入れており、順調にパッションフルーツの生産量の増加が見込まれる。	令和8年度の成果目標達成に向けて、研修生の受け入れを拡大しつつ、栽培技術向上及び農業経営の安定化を図るべく、講習会や現地検討会等を開催していく必要がある。
今後の取り組み方針		
成果目標の達成に向けて、沖縄県北部農業改良普及課及びJAおきなわと連携し栽培講習会及び現地検討会を開催する。		

資金の流れ （資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）														
<table><tr><th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr><tr><td>39,406</td><td>39,406</td><td>31,525</td><td>7,881</td><td></td></tr></table> 恩納村 39,406千円 工事請負費 39,406千円 (株)三和アグリテクノ 39,406千円 恩納村農業拠点産地品目等 担い手育成研修施設整備工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	39,406	39,406	31,525	7,881	
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
39,406	39,406	31,525	7,881											
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明										
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○受託業者は指名競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。										
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○不用額は事業費の10%以内であり適正な規模と判断できる。										
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		○費用、使途については事業の目的の即し、必要なものであったと判断した。										
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												